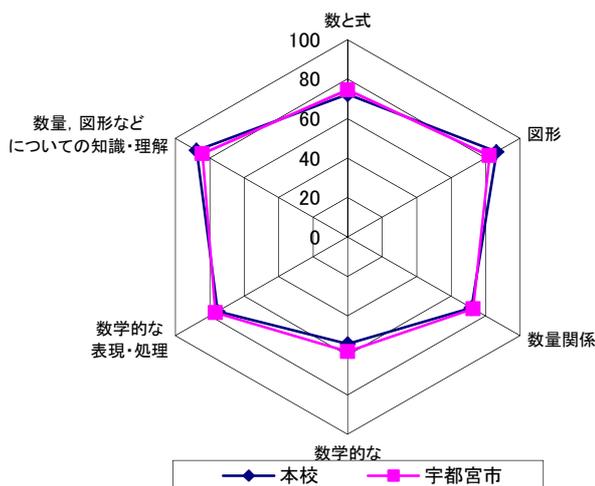


# 宇都宮市立瑞穂野中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	72.3	74.6
	図形	86.4	82.2
	数量関係	71.8	72.8
観点別	数学的な見方や考え方	54.2	58.1
	数学的な表現・処理	75.6	76.8
	数量、図形などについての知識・理解	87.7	84.3



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (72.3%)	宇都宮市の平均正答率よりやや低い。2元1次方程式の解、連立方程式の利用の平均正答率はともに63.4%で、宇都宮市の平均正答率よりもそれぞれ8.6%、6.8%低い。また、文字式の利用の平均正答率は49.3%で宇都宮市の平均正答率より4.0%低く、理解が不十分であるとともに、読解力や応用力が不足している。	文字式の計算や連立方程式の計算演習を数多くこなし、表現・処理を高める必要がある。また、文章を読み取り、数や文字を使って式で表す練習に重点を置く必要がある。
図形 (86.4%)	全般的に宇都宮市の平均正答率よりも高く、領域の中では最も平均正答率が高い領域である。特に三角形の合同については、宇都宮市の平均正答率よりも12%高く、理解できている。また、三角形の合同の証明において、本校の平均正答率は95.8%と高く、理解できている。	証明の仕方については、多くの問題演習に取り組み、証明の意味や証明のパターンについて十分に理解させる必要がある。
数量関係 (71.8%)	ほぼ宇都宮市の平均正答率と同じ値である。1次関数の2点を通る直線の式を求める問題においては、平均正答率が62.0%で宇都宮市の平均正答率より6.9%低い。1次関数のグラフと直線の式の問題では、81.7%と宇都宮市の平均正答率より6.6%高い。また1次関数の利用では、平均正答率は64.8%で宇都宮市の平均正答率より、8.0%低い。	1次関数については、ともなって変わる2つの数量の変化を式やグラフで表す意味やその方法について理解させ、関数に対する理解や表現・処理をさらに深める必要がある。